



平成30年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会

鳥取県ラウンド 開催要項

- | | | |
|------------------|------------------|--|
| 主
後
主
協 | 催
援
管
賛 | 公益財団法人日本バレーボール協会
鳥取県教育委員会・新日本海新聞社
鳥取県バレーボール協会
全日本空輸株式会社、久光製薬株式会社、日清製粉グループ、日本生命保険相互会社、丸大食品株式会社アシックスジャパン株式会社、ミズノ株式会社 |
| 1 開 催 趣 旨 | | 本大会は、本協会に登録する全てのチーム(中学生以上)が、1年度を通して「天皇杯」「皇后杯」の名を冠するに相応しい、日本の6人制バレーボール最高のチームとなる栄誉を競うと同時に、バレーボールの競技を通じて体力、人格、精神力の向上を目指し、また日本バレーボール界の発展と普及に寄与することを旨として開催する。 |
| 2 開 催 期 間 | | 平成30年 6月 10日(日) |
| 3 会 場 | | 青谷町農林漁業者トレーニングセンター・青谷町体育館 |
| 4 参 加 資 格 | | 平成30年度公益財団法人日本バレーボール協会個人登録規定により、有効に登録されたチームおよび選手で構成された中学生以上のチーム。 |
| 5 競 技 規 則 | | 平成30年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。 |
| 6 競 技 方 法 | | 原則として3セットマッチのトーナメント戦とする。 ※優勝チームはブロックラウンドへ出場する。
中国ブロックラウンド: 9月 8日(土)～9月9日(日) 岡山県 |
| 7 使 用 球 | | 天皇杯・皇后杯大会オリジナル球を男女4球ずつ実行委員会から支給し準決勝・決勝より使用する。
男子:ミカサ製(MVA300)／女子:モルテン製(V5M5000)
※上記以外は通常のモルテン・ミカサボールを使用する。 |
| 8 チーム構成 | | チーム編成: 1チームは部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー各1名、(チームスタッフ)、選手18名以内とする。必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。
申込み後の選手変更は競技者番号を含めて認められない。なお、各試合の役員・選手14名は、試合ごとにエントリーする。 |
| 9 参 加 申 込 | | MRS「チーム責任者のマイページ」から大会参加申込みを行う。
同一チームから複数のチーム編成で参加する場合はお問い合わせ下さい。
参加料: 1チーム3,000円(大会当日に持参すること) |
| 10 申込方法・締切 | | 平成30年 5月 31日(木) |
| 11 代 表 者 会 議 | | 平成30年 6月 10日(日) 9時20分～ |
| 12 抽 選 会 | | 平成29年 6月 2日(土)
大会事務局で実施し参加チームへ連絡するとともに、鳥取県バレーボール協会HPへ掲載します。 |
| 13 開 会 式 | | 平成30年 6月 10日(日) 9時40分(予定) |
| 14 表 彰・閉 会 式 | | 閉会式並びに表彰式は実施しない。準決勝より試合終了後コート表彰を行う。 |
| 15 そ の 他 | | ブロックラウンドへの出場チームは監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者に基づく、公認バレーボールコーチ・公認バレーボール上級コーチ、公認バレーボール指導員、公認バレーボール上級指導員の有資格者とする。 |

※ 本大会の問合せ

鳥取県バレーボール協会 競技委員長 田村 昌三 携帯090-3371-3442